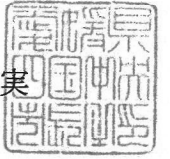


令和6年2月21日

四国中央市議会議長 篠永 誠司 様

四国中央市長 篠原



「子ども食堂の普及促進への提言」に対する反映状況の報告

四国中央市議会より提言のあった件について、下記のとおり報告いたします。

記

1 子供の欠食・孤食を防ぎ、貧困の子供たちに栄養バランスの取れた食事を提供するため、子ども食堂の支援や充実を目的とし、以下の具体策を早急に講じること。

(1) 小学生が一人で歩いて行動できる範囲を考慮し、小学校区ごとに子ども食堂の設置を目指すこと。

令和5年7月に市内の全公民館を訪問し、子ども食堂の意義や現状について情報提供するとともに、「子ども食堂開設マニュアル」を作成し、子ども食堂の拡充について各団体への働きかけを依頼いたしました。

また、今年度立ち上げた「こどもと家庭の食の支援ネットワーク (KIDS ごはん)」の活動の中で、子ども食堂の新規開設を思案している団体に助言する等、新規開設をサポートし、子ども食堂の拡充に努めてまいります。

(2) 設置における調理器具や調理資材等の調達に係る助成を行うこと。

子ども食堂開設時等に調理器具などの調達に困らないよう、今年度から子ども食堂機能充実事業費補助金により助成を開始しており、引き続き、子ども食堂開設における支援に努めてまいります。

【1団体につき1回、上限35万円。(10/10補助)】

(3) 持続的及び安定した運営を図るための助成を行うこと。

持続的及び安定した運営が図れるよう、子ども食堂支援事業費補助金により助成を実施しており、引き続き支援を継続してまいります。

【1団体につき年1回、上限10万円。(2/3補助)】

(4) ボランティアスタッフの育成に努めること。

市報やホームページ等を利用して子ども食堂へのボランティアの参加を呼び掛けるほか、ボランティアスタッフの登録制度（サポーター制度）を立ち上げる等、学生にも広く参加を募り、市民が自分の得意分野を生かして、空き時間に気軽に参加できる制度の確立に努めてまいります。

(5) 食材寄附者と子ども食堂をつなぐマッチングシステムの構築を目指すこと。

こどもと家庭の食の支援ネットワーク（KIDS ごはん）を中心として、どのようなシステム構築が各団体と寄附者をスムーズに繋ぐことができるのか協議する等、インターネットを活用したシステムづくりについて検討してまいります。

(6) 子供の食育や居場所づくりにとどまらず、高齢者や障がい者を含む地域住民の交流拠点として取り組み、地域共生社会の実現を目指すこと。

子ども食堂の取り組みの中で、認知症カフェなど他団体との協働やフードドライブ、資源循環、休耕地を利用した農業体験等、多様な視点で取り組む活動が広がり始めています。その取り組みの中では、さまざまな立場の方が関わってくださっており、今後多くの方を巻き込んで、多様性のある活動を実施することで、子どもの居場所づくりにとどまらない、地域共生社会の実現に向け取り組んでまいります。

(7) 子ども食堂の役割や意義・効果について啓発・広報活動を実施し、正しい理解の普及に取り組むこと。

現在、市報の特集記事やホームページ等を活用し、子ども食堂の役割や意義について、正しい理解の普及に努めています。また、企業と連携した子ども食堂応援自販機の設置も進めており、市民が自販機を利用した際、音声により子ども食堂を紹介する等、啓発に努めております。今後は、従来の広報活動に加え、企業と連携した、子ども食堂支援、啓発・広報活動にも取り組んでまいります。